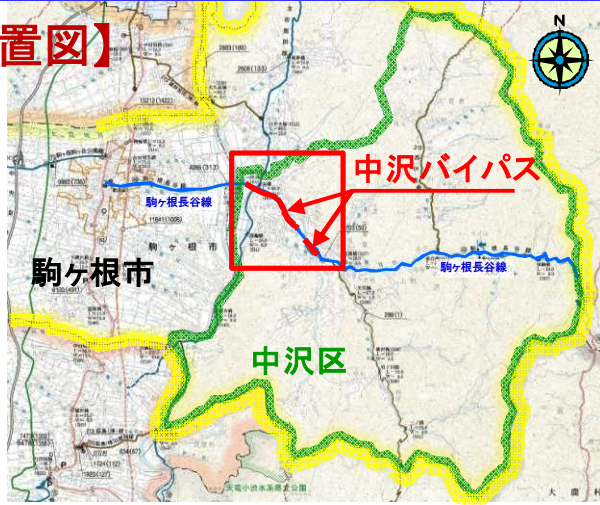


伊那建設事務所 中沢バイパスの整備効果

主要地方道 駒ヶ根長谷線 駒ヶ根市 中沢（県単道路改築事業）
 ～地域の思いが形に「子供たちが安心して歩ける道づくり」～

【位置図】



駒ヶ根市街地から東へ約5km、天竜川を挟んで東側に広がる一帯が駒ヶ根市中沢区です。

地域の幹線道路であり、集落をつなぐ道路として長年利用されてきた県道（主要地方道）駒ヶ根長谷線は、幅員5.0mの1車線道路で、歩道がなく道路脇の住宅に近接しているため、交通量が増えてきた近年、車のすれ違いや歩行者の安全に支障をきたしていました。

駒ヶ根長谷線 中沢バイパス(三期工区)整備要望骨子

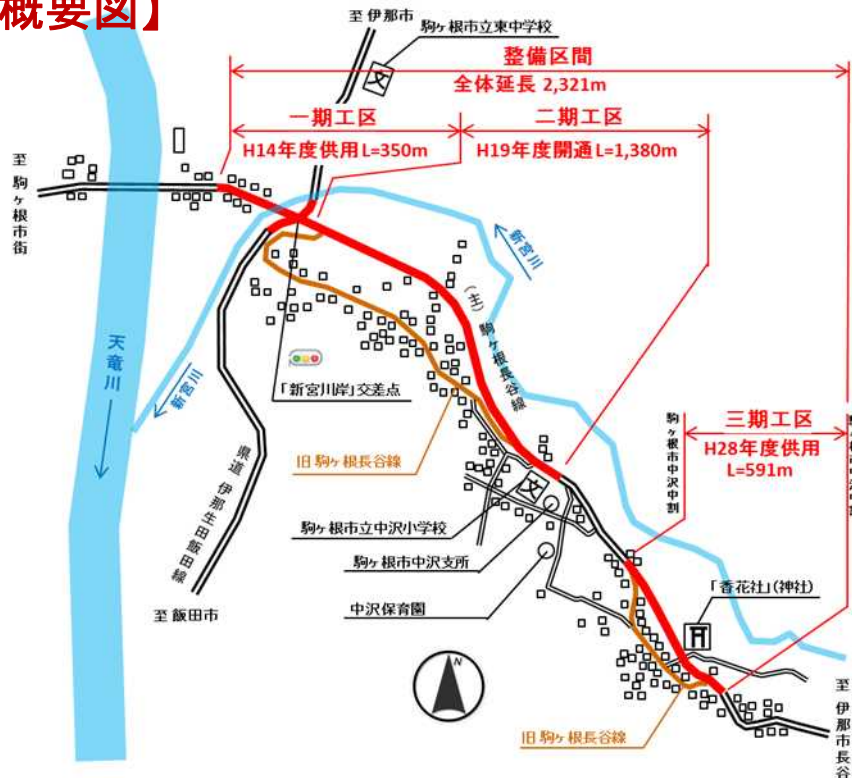
- 地元の高齢者、子供たちが安全・安心して利用できる道づくり。
- 中沢地域の幹線道路
- 二つのアルプスを望める観光道路

駒ヶ根長谷線 中沢バイパス改良促進委員会(三期工区)より

(一部抜粋、要約)



【概要図】



【整備目的】

【2車線化】

- ・全線を2車線化、行き違い時の交通停滞を防止
- ・車両の接触の危険性を回避

【歩道整備】

- ・歩行者と通行車両を分離し、安全な歩行空間を確保

【距離短縮】

- ・狭隘区間の短絡、線形改良により道路延長を短縮

【生活空間との分離】

- ・集落外にバイパスを整備、通過交通による騒音等の被害防止を図る

工区名	施工年度	工事内容	延長
一期工区	H 7～H14	道路拡幅	L= 350m
二期工区	H13～H19	道路開設	L=1,380m
三期工区	H22～H29	道路開設	L= 591m
合計			L=2,321m



伊那建設事務所 中沢バイパスの整備効果

主要地方道 駒ヶ根長谷線 駒ヶ根市 中沢 (県単道路改築事業)
～地域の思いが形に「子供たちが安心して歩ける道づくり」～

【整備効果①】交通利便性の向上

従前の県道は、集落内を通過している区間が多く、幅員が狭く歩道がないため、車同士や歩行者とのすれ違いに支障がありました。走行性が悪く、通行者にとって不便なものとなっていました。

【通行時間】

バイパス
整備前 5分40秒

3分20秒短縮!!

バイパス
整備後 2分20秒

※通行時間:伊那建設事務所職員 測定 3回走行の平均値

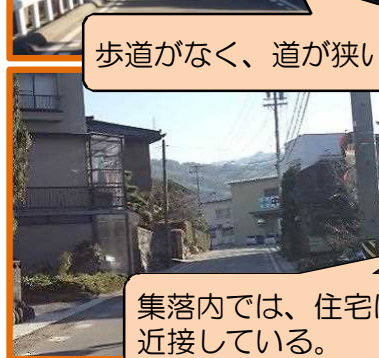
整備前(旧道状況)



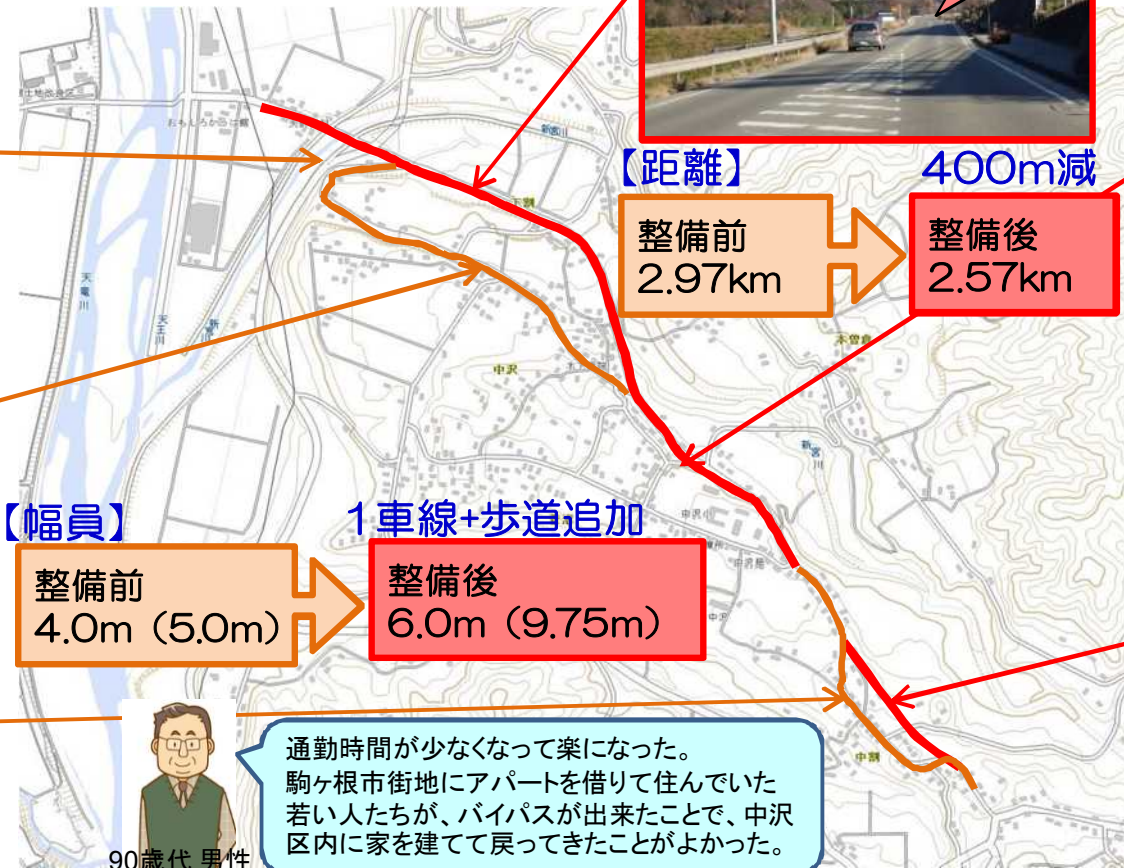
曲がりくねっていて、
見通しが悪い!



歩道がなく、道が狭い!!



集落内では、住宅に
近接している。



バイパス整備後



2車線化し、距離も短縮。
見通しがよくなった。



歩道が整備され、安全な歩行空間が確保された。



バイパスは集落外へ
生活道路と区分された。



90歳代 男性

通勤時間が少なくなって楽になった。
駒ヶ根市街地にアパートを借りて住んでいた若い人たちが、バイパスが出来たことで、中沢区内に家を建てて戻ってきたことがよかった。

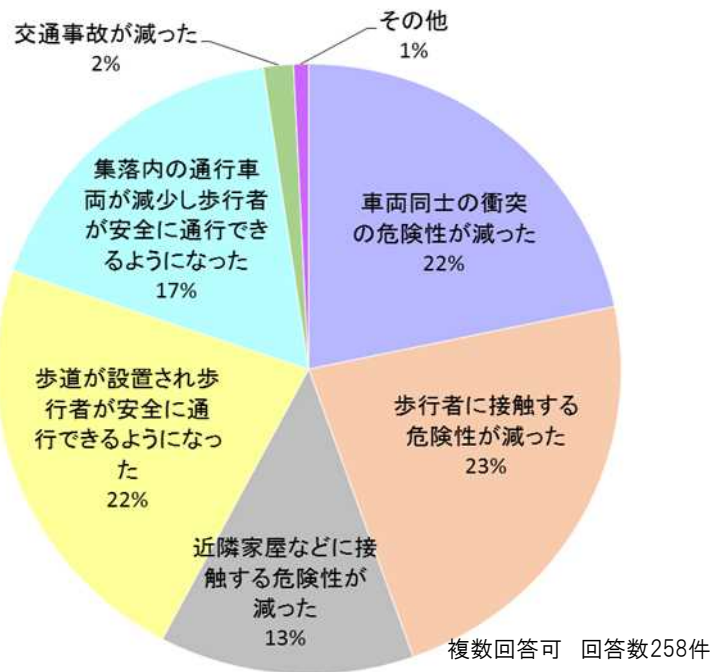
伊那建設事務所 中沢バイパスの整備効果

主要地方道 駒ヶ根長谷線 駒ヶ根市 中沢（県単道路改築事業）
 ～地域の思いが形に「子供たちが安心して歩ける道づくり」～

【整備効果②】安全性の向上

従前の県道は、集落内を通過している区間が多く、幅員が狭く歩道がないため、車同士や歩行者とのすれ違いに支障があり、安全性の課題がありました。

【アンケート結果】安全面で改善されたこと



集落内の交通量減少

バイパス整備前 1,308台 ⇒ 整備後 159台

整備前データ：「H27年度交通センサス」より 昼間12時間自動車類合計
 整備後データ：H29.11.27中割集落内 調べ 7:30から17:00まで

集落内の通過車両が大幅に減少!!

整備前(旧道状況)

車両の行き違いで、道路幅いっぱいになってしまい、歩行者の避ける場所がなかった。

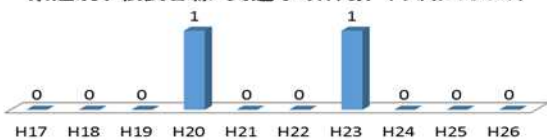


バイパス整備後 交通状況

2車線化・歩道整備により、車両の行き違い時でも安全に登校出来るように。



県道駒ヶ根長谷線 交通事故件数（中沢区内のみ）



車通りの少なくなった旧道が散歩できるようになった。



30代女性

区内の医院と薬局に歩いて通っている。以前は車が来る度に家の軒下まで入らせてもらって避けていた。年寄りだから機敏には動けなくて大変だった。バイパス開通で、道がまっすぐになり早くて助かっている。なにより歩道があるので車に注意を払わず安心して歩ける。とても助かっている。

バイパス3期工区終点付近在住 女性

集落内道路は、交通量が激減。小学校の通学路は、安全になった集落内の道を利用



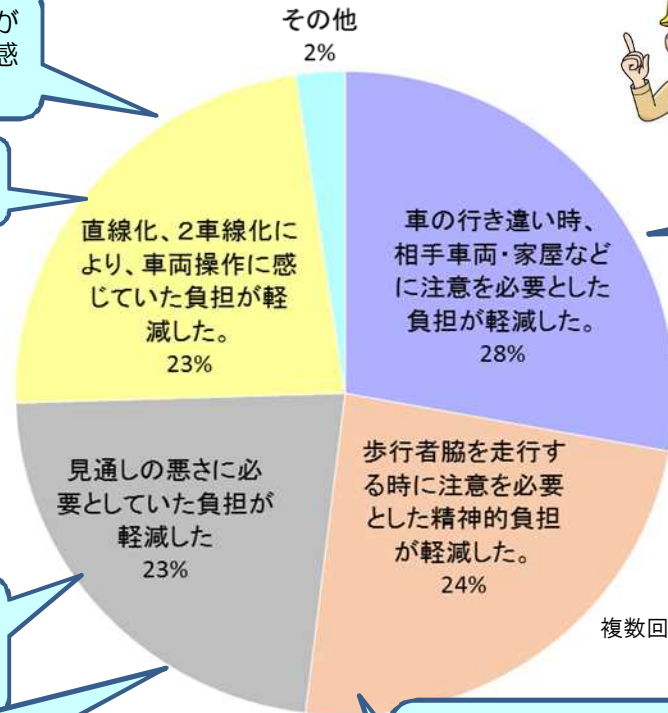
伊那建設事務所 中沢バイパスの整備効果

主要地方道 駒ヶ根長谷線 駒ヶ根市 中沢（県単道路改築事業）
～地域の思いが形に「子供たちが安心して歩ける道づくり」～

【整備効果③】利用者負担の軽減

通勤、業務などで利用頻度が高い 運転手にとって、集落内の見通しの効かない道路は精神的負担となっていました。また朝夕に登下校を見守る地域の方々にとっても負担となっていました。

【アンケート結果】精神的な負担が軽減されたこと



雪が降ると道の両側に雪があり、凍ったりして道幅が狭くなって危険だったが、道幅も広くなり、その時感じていた負担が軽減した。（60歳代 女性）

街道（集落内道路）で大型ダンプ等、大・中型トラックが激減したこと（70歳代以上 男性）

集落内の生活道では通行量が大幅減



（旧道の交通量が減り）道路に面した車庫からの出し入れ時の時間、安全性、労力の負担が大幅に改善されておりありがたい。（60歳代 男性）

直線道路なので、歩行者がいることが分かりやすくなった。（30歳代 男性）

子供たちの外遊びを見守る時、車両が減ったことで精神的負担が大幅に軽減した。（50歳代 女性）

旧道沿いに我が家があるため、バイパスがあいたことで車の台数がかかり減り、子どもが道へ飛び出すことへの不安がかかり減った。子育てが安心安全になった。（年齢・性別未記入）



旧道は大型車のすれ違いが出来なかったため、行き帰りの経路を変え、地元の方に大変迷惑をかけてました。バイパス開通後はそういった苦勞がなく通行できるようになりました。（中沢区内 T建設会社）

朝の忙しい時間帯すれ違い等の負担がなくスムーズに通行できる為、安全運転につながり非常に良い。（60歳代 男性）

（道幅の広いところで避けて）対向車を待っている時間が無く楽になりました。（20歳代）

旧道での車行き違い状況



歩道・車道の分離により、歩行者がいても、大型車が問題なく通過可能になりました。



年配の歩行者がいたり、児童生徒の通学時には、自分が神経を使って徐行するだけでなく、他車と彼らの交通事故が起きないかと心配であったが、それが減少して良かった。（60歳代 男性）

子供達の登下校の時間帯は、すいぶん気を使って運転していたが、そのことが解消した。（中沢区内 H建設会社）



伊那建設事務所 中沢バイパスの整備効果

主要地方道 駒ヶ根長谷線 駒ヶ根市 中沢（県単道路改築事業）
～地域の思いが形に「子供たちが安心して歩ける道づくり」～

【整備効果④】沿道環境の改善

中沢地区は、みそ土と呼ばれる風化した軽石質火山灰土が厚く堆積し、地盤が非常に悪い地域です。住宅が近接していた旧道では、振動や騒音等の生活環境の課題がありました。

生活環境の改善

振動

大型車が通るたびに、家が揺れる!!

瓦が緩んで落ちてくる!

外から遊びに来た人が、家で寝ていて飛び起きた!

大型車が通るとTVの音が聞こえなくなる。

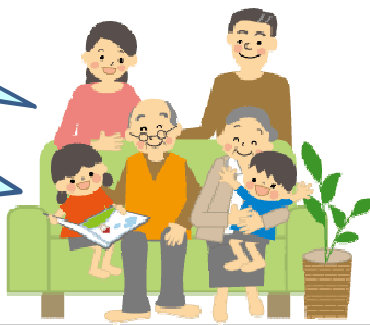
家の窓を防音ガラスに変えなくてはならなかった。

騒音

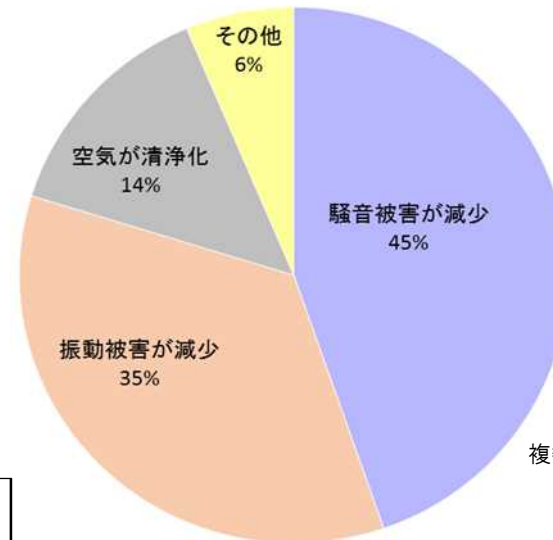


旧道の交通量が減り、旧道に面した住宅、住居者の快適性が上がった効果大きい。
(60歳代 男性)

以前は、家の中で休むことが出来ず、体調が悪くなったりした。
通行車の数が全然減ったおかげで、大型車が通るときの振動、騒音がなくなり、安心して暮らせるようになった。
(年齢・性別未記入)



【アンケート結果】生活環境の変化



複数回答可 回答数94件

健康増進

歩道が出来て、外灯もついたので、ウォーキングをする機会が増え、健康にもよいと思っています。
(60歳代 男性)



ジョギングや散歩を楽しむ人が増えた。
(70歳代以上 男性)



伊那建設事務所 中沢バイパスの整備効果

主要地方道 駒ヶ根長谷線 駒ヶ根市 中沢（県単道路改築事業）
 ～地域の思いが形に「子供たちが安心して歩ける道づくり」～

【整備効果⑤】地域経済の活性化

経済効果の発現の本格化は今後期待されるところです。

バイパス開通以前より、区内で営業していた飲食店・薬局など4件、建設会社4件、バイパス（第2期工事）開通後に出店した飲食店2店にそれぞれ話を伺いました。

バイパス整備後 出店した飲食店より

バイパス開通という事を意識してこの場所を選んだわけではないが、目の前に広い道があったので立地が良いと思った。

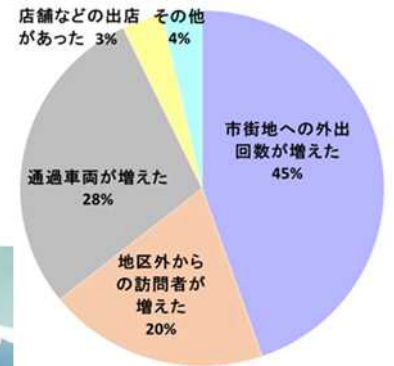
中沢地区観光パンフレットより「花桃の里」

バイパス整備前からの飲食店経営者より

花桃の成長と共にお客さんが増えてきた。バイパス効果ではないが、市街地から大きい新しい道路が出来たという事は、地区のイメージが明るくなったような気がする。

【アンケート結果】

地域経済への変化



バイパス整備前から地域で営んでいる飲食店など4件では、来店者増・来客層の変化といった変化は見られないとの事でした。

今後、長期的な効果が期待されます。



今までは道幅が狭く、他地区から来る人達に案内する時負い目を感じていたが、今度は自信をもって説明ができる。

60歳代 男性



旧道は、大型車のすれ違いが出来なかったため、行き帰りの経路を変えていた。バイパス開通後は往復同じ道が通れるようになり、資材運搬の効率がよくなった。

T建設会社



旧道あと地の空き地に、花壇をつくって花を植えました。

景色が良く気持ちよく運転ができるようになった。（5名から同回答）

（5名から同回答）